

平成29年10月31日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

パッシブ運用におけるエンゲージメント強化について
～外国株式のエンゲージメントに関して英 AAML 社と業務提携～

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{いけがや}池谷 ^{みきお}幹男、以下「弊社」）は、Standard Life Aberdeen plc（代表者 CO-CEO Martin Gilbert/Keith Skeoch、以下「SLA 社」）の子会社である Aberdeen Asset Managers Limited（代表者 Mandy Pike、以下「AAML 社」）と外国株式のパッシブ運用におけるエンゲージメント強化に関する業務委託契約を締結しましたので、お知らせいたします。

弊社は日本版スチュワードシップ・コードを受け入れ、投資先企業との企業価値及び資本効率を高めることを目的とした対話（エンゲージメント活動）を行っています。

国内では、投資先企業を熟知しているアナリスト・ファンドマネージャーと、全投資先企業を網羅的に把握している議決権行使の専門部署とが、各々の専門性を発揮しながら相互に連携し、アクティブ運用はもちろん、より中長期的な企業価値向上を目指す必要性が高いパッシブ運用においても、企業を熟知したアナリスト・ファンドマネージャーが対話を行うなど、企業価値の向上に積極的に取り組んでいます。

一方、国外に目を移すと、例えば弊社の企業年金運用の標準型ポートフォリオで外国株式は22%と一定の運用割合を占めていますが、国内の投資先企業と同じようなエンゲージメント活動を行うのは限界がありこれまで課題としていました。

今般、AAML 社と業務提携し、国外のパッシブ運用を中心とした投資先企業に対する実質的なエンゲージメント活動を開始します。具体的には弊社がインデックス構成銘柄のうち運用リターンに大きな影響を持つ時価総額の大きい銘柄や ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点で懸念のある銘柄を中心にエンゲージメント対象のユニバースを選定します。実際のエンゲージメントは AAML 社が担当しますが、エンゲージメント結果を両社が共有した上で、次のエンゲージメント活動に繋げていく仕組みを構築します。

AAML 社と弊社はともに運用機関であり、アナリスト・ファンドマネージャーが企業のビジネスモデルをきちんと理解したうえでエンゲージメントを行い、改善点を提案するなど企業の特성에応じた肌理細やかなエンゲージメントに特徴があります。加えて旧アバディーン・アセット・マネジメント社との長年にわたる資本業務関係に基づく信頼関係から、真に効果のあるエンゲージメント活動に資するものとして今回の業務提携に踏み切りました。

今後も、この様な取り組みを行い、投資先の企業価値向上や持続的成長を促し、最終受益者の長期的利益の拡大を真に目指すことで、運用機関としての責務を最大限果たして参ります。

以上

<Aberdeen Asset Managers Limited 概要>

Aberdeen Asset Managers Limited (AAML) は英国スコットランドを拠点に、株式、債券、デリバティブのほか、不動産、プライベート・エクイティ、ヘッジファンド、インフラストラクチャーなどオルタナティブ資産の運用を手掛けています。

AAML は Aberdeen Asset Management PLC の 100%子会社であり、Aberdeen Asset Management PLC は Standard Life Aberdeen plc 社の 100%子会社です。

<Standard Life Aberdeen plc 概要>

英国 Standard Life Aberdeen plc 社は、2017 年 8 月に英国アバディーン・アセット・マネジメント社と英国スタンダード・ライフ社の合併により発足した資産運用グループです。

弊社は 2008 年 10 月にアバディーン・アセット・マネジメント社と資本・業務提携契約を締結して以来、同社の運用商品を国内のお客様向けに提供しております。